



従業員研修にクアオルト®健康ウォーキング等のプログラムを導入

自治体からの働きかけにより、地域の活性化を目指して健康経営相互応援協定を締結。自社事業や地域への理解醸成と社員の健康増進を兼ねて、研修にクアオルト®健康ウォーキング等のプログラムを導入している。

導入の経緯と決め手

自社が新たに運営を始めた温浴複合施設「高源ゆ」がある坊平エリアに多様な誘客を行いたいと考えていたころ、上山市から企業研修受入の取組について打診を受け、地域の事業者とともにプログラム提供に取り組むようになった。

自社の従業員に対しても、自社の事業や地域での取組を知る良い機会になると考え、プログラムを導入することとした。

取組内容とその効果

<実施地域：森林サービス産業推進地域「山形県上山市地域」>

2022年度から、従業員に自社の事業や地域の取組を知ってもらうことを目的に、全従業員を対象に、研修として、自社が運営する温浴複合施設での提供プログラムやクアオルト®健康ウォーキングなどの地域で提供されている主なプログラムを体験する機会を設けている。

これまでに、従業員の約9割が研修に参加しており、建設部門で働く従業員にも新規事業を理解してもらうことや地域のことを知ってもらうことにつながった。



従業員の声

専門のガイドから説明を受けることで、意外と知らない地元の森林のことや、森での過ごし方などを知ることができて嬉しかった。

役割分担と参加促進に向けた取組

地域との調整は、温浴複合施設マネージャーが行っており、社内では、同マネージャーと本社事業部長が連携して対応。研修を何回かに分けて実施することで、全ての従業員が参加できるように工夫している。従業員に、プライベートで森のプログラムを体験できるチケット制も導入することを検討中。

■プログラム構築：

地域で提供されているプログラムの中から企業が選定して研修として構成

■導入形態：

参加必須の研修（日帰り）

■対象者：

全従業員が対象

■費用負担：

企業が全額負担

目的

- 心と体の健康づくり
- 従業員の自社事業・企業理念に対する理解向上
- 福利厚生
- 地域との関係づくり

結果（企業の声）

- 地域との関係がさらに深まった
- 従業員の自社事業に対する理解が深まった